

エレミヤ書、哀歌の結晶の学び#3:神の民の二つの悪事と神は彼のエコノミーを完成することにおいて信実であること 9/14-9/20 **OL Summary: I** エレミヤ書は、イスラエルの罪と、神の激怒、懲らしめ、刑罰についての語りかけに満ちた書であり、神のエコノミーにおける彼の意図が、生ける水の源泉、源となって、彼ご自身を彼の選ばれた民の中へと分与して、彼らの満足と享受になることであるということを啓示しています。この享受の目標は、召会、神の配偶者を生み出して、それを神の増し加わり、神の拡大とし、神の豊満とならせて、彼を表現することです。神聖な啓示の核とは、神が私たちを創造し、贖ったのは、彼ご自身を私たちの中へと造り込んで、私たちの命またすべてとなるためであるということです：**A** 生ける、霊の岩としてのキリストは神の律法の権威によって打たれました。それは命の水が復活の中で彼から流れ出るためであり、また彼の贖われた民の中へと流れ込んで彼らが飲むためでした。**B** 私たちが復活の中で一つ霊から飲むことは、私たちをからだの肢体とし、私たちをからだとして建造し、また私たちを整えてキリストの花嫁とならせます。**II** 「私の民は二つの悪事を犯した…彼らは私この生ける水の源泉を捨てて、自分たちのために水ため、水をためることがない壊れた水ためを掘ったのだ」(エレミヤ2:13)：**A** イスラエルは生ける水の源泉としての神から飲んで、神の表現としての増し加わりとなるべきでしたが、彼らはかえって二つの悪事を犯しました：彼らは彼らの源泉、源としての神を捨てて、神以外の源に転向しました。この二つの悪事はエレミヤ書全体を支配しています/水ためを掘ることは、イスラエルが人の労苦によって苦しみ、何か(偶像)を作って神を置き換えることを描写しています/水ためが壊れて水をためることができないことが示しているのは、生ける水として私たちの中へと分与された神ご自身を離れて、何も私たちの渴きをいやすことも、私たちを神の増し加わりとならせて彼を表現させることもできないということです。**B** 神の目に、悪しき者、悪を行なう者は、来て彼から飲むことをしない者です。悪しき者の邪悪な状態は、彼らが主に来て主を食べ、飲み、享受しないことです。彼らは多くの事を行ないませんが、来て主に触れ、彼を取り、彼を受け、彼を味わい、彼を享受することをしません。神の目に、これほど邪悪なことはありません。**C** 神の意図は、ご自身を人の中へと分与して、人の満足となり、神を拡大することでした。しかし、人は不忠信になり、不貞になり、神を捨てて、偶像に向きを変えました：私たちの心の中の偶像とは、私たちが自分の内側で主以上に愛し、大切にすすべてのもの、また私たちの生活の中で主に置き換わるすべてのものです/自分の内側に偶像を持つ者はみな、外側で神を捜し求めても、神を見いだすことはできません/イスラエルは偶像を拝むことによって、自らをむなしいもの、無としました。彼らは自分たちの町の数ほど、多くの偶像を持っていました。イスラエルは彼らの神(彼らの栄光)の実際を、偶像の虚無と取り替えました/背信とは、神の道を離れ、別の道を取って、神以外のものに従うという事柄です。背信とは、神を捨て、偶像へと向きを変えることです/イスラエルがバビロン人に捕らえられたとき、神の民はまだ彼らの偶像を放棄しておらず、それらを良き地からバビロンに運ばなければなりません。神に置き換わるもの

や、神の地位を占有するものは何であれ、偶像であり、礼拝する者にとって重荷となります/もの言わぬ、声のない偶像は、それらを拝む者たちをもの言わぬ、声のない者とします。ところが、生ける神は、ご自身を礼拝する者たちをご自身の霊の中で語らせませす/神を礼拝する者はだれも、黙っているべきではありません。みな声を出して、神の霊の中で、「主イエス!」と語り出すべきです/のよう「主イエス」と語ることは、すべての霊的賜物の中で主要な機能です。正しい霊で主の御名を呼び求めることは、聖霊にあずかり、聖霊を享受し、経験する方法です/「死人たち、また静寂へと下って行く者たちは、エホバを賛美することはない。しかし、私たちは今より永遠まで、エホバをほめたたえる。ハレルヤ」(詩115:17~18)/私たちが所有しているものは何であれ、さらには私たちであるものは何であれ、偶像になり得ます。イスラエルは神を捨て、偶像に向きを変え、神に対して邪悪で、不忠信でした。神に対してこのように不忠信であることにおいて、私たちはイスラエルと同じです。**III** 私たちは、神が彼のエコノミーを完成することにおいて信実であることを見る必要があります：**A** 私たちは不信実であっても、神は信実です(哀3:23)。よく知られている詩歌(13番)のりかえしは言います、「あなたの信実は大です! あなたの信実は無限です! あなたのあわれみは朝ごとに新鮮です。私が必要とするすべてはあなたが供給され、あなたの信実は極めて大で無限です!」：私たちが神の信実を天然の方法で理解するなら、私たちは神が信実であるのはおもに物質の備えか物質の祝福の事柄においてであると思うかもしれませんが。しかし、神の信実は私たちの天然の理解にしたがったものではありません。Iコリント1:9は、神が信実であるのは、私たちを彼の御子の交わりへと召すことにおいてであると言っていますが、私たちの天然の理解では、神は私たちの福利を顧みることにおいて信実であるように見えないかもしれません/「使徒パウロの苦難を考えてみてください。彼は神によって召され、委託され、負担を受け、遣わされましたが、どこへ行っても問題に遭いました。例えば、彼はキリストを宣べ伝え始めると直ちに、迫害を受け始めました。彼はかごで城壁づたいに吊り下ろされることによってさえ、ダマスコから逃げなければなりません。これは、神がパウロにとって信実でなかったことを意味するのでしょうか? いいえ、それは、神の信実が私たちの天然の理解にしたがっていないことを意味します/」神が私たちに困難があるのを許すとき、神は彼の定められた御旨において信実であって、私たちを偶像から向きを変えさせ、彼ご自身に連れ戻すことを、私たちは認識する必要があります。私たちの平安、安全、健康、財産は、私たちの偶像になるかもしれません。しかし、神は信実であって、これらのものを取り去り、私たちが生ける水の源泉としての彼から飲むようにされます/私たちは、自分がイスラエルより良くないことを見る必要があります。どんなものでも、私たちの偶像になり得るのです。しかし、神は彼のエコノミーを完成することにおいて信実です。神は彼の信実の中で私たちの偶像を対処し、私たちに彼から飲ませます。**B** もし私たちが神に対して忠信でなかったことを認識するなら、悔い改め、泣くかもしれませんが、その後私たちは生ける水から飲み始め、神を賛美し、あらゆる事で神に感謝し、神を享受

すべきです。これが、神が欲しておられることです。神は、私たちがキリストを享受すること以外に何も関心がありません：エレミヤは、「エホバは私の分け前です…私は彼[エホバ]を待ち望む。エホバは彼を待ち望む者…に対してすばらしく善い」と言明することさえできました。神の中に望みがあるのは、神には失望がないからです/私たちの失敗は、キリストのために道を開いて、彼が入って来て私たちの義また贖いとなり、またご自身を私たちの中へと分与して、私たちの命となり、また神を知り神を生きる能力を持つ命の法則とならせます。言い換えると、私たちの失敗は、キリストのために道を備えまた開いて、彼が入って来て、私たちの中で、また私たちを通して高く上げられ、私たちの中心性と普遍性になるようにさせるのです/あらゆる信者は、現在は弱くても強くても、新エルサレムの構成要素となり、みなそこにおいて円熟します/ですから、私たちは落胆したり、失望したりすべきではありません。そうではなく、私たちはすべての慰めと励ましの神をもって励まされ、慰められるべきです。

**CP1:神のエコノミーは、私たちが生ける水の源泉である神に**  
**来て、生ける水を飲み、生ける水を流し出すことである**

**出17:6** 見よ、私はホレブのあの岩の上で、あなたの前に立っている。あなたがその岩を打つと、水がそこから出て、民は飲むことができる」。モーセは…そのように行なった。**啓22:1** また御使いは、水晶のように輝く命の水の川を私に見せた。それは神と小羊の御座から、大通りの中央を流れていた。**OL1** エレミヤ書は、イスラエルの罪と、神の激怒、懲らしめ、刑罰についての語りかけに満ちた書であり、神のエコノミーにおける彼の意図が、生ける水の源泉、源となって、彼ご自身を彼の選ばれた民の中へと分与して、彼らの満足と享受になることであるということを啓示しています。この享受の目標は、召会、神の配偶者を生み出して、それを神の増し加わり、神の拡大とし、神の豊満とならせて、彼を表現することです。

全聖書は、エレミヤ書を含めて、神のエコノミーのために書かれました。エレミヤ書のライフスタディにおける私の負担は、主が御言から神のエコノミーについて私に見せてくださったことを、あなたがたが見ることです。あなたがたがこのビジョンを見るなら、あなたがたの人生は影響され、主の回復は豊かにされます。

エレミヤ 2:13 には、エホバの選民であるイスラエルに対する、彼らが犯した二つの悪事についての神の言葉があります。神のエコノミーにおける彼の意図は、生ける水の源泉、源となって、彼の選ばれた民を満足させ、彼らの享受になることです。

その霊は、打たれたキリストを通して、裂かれた岩によって予表されるキリストを通して流れます。この流れは、キリストの人性、人の生活、死を含みます。私たちは、私たちの内側の生ける水の流れによる以外に、主の人性を味わい、経験し、享受することはできません。私たちはこの水を飲めば飲むほど、キリストの人性、人の生活、死をますます経験し享受します。命の水としてのその霊は、キリストの復活の力を伴い、キリストの昇天を伴い、栄光を現すこと、主権、頭首権から成るキリストの御座に着くことを伴って、復活の中で流れます。

復活の中で命の水が流れることは、キリストのからだの形成のためです。私たちはみな同じ霊を飲んだので、

一つからだになることができます。復活の中で一つ霊から飲むことは、私たちをからだの肢体とし、また私たちをからだとして建造します。復活の中で生ける水が流れることはまた、キリストの花嫁の準備のためです。

**適用:新人及び青少年・大学生編**

全聖書は、神が生ける水の源であり、御子の中で泉のように溢れ出て、その霊が川のように流れ人に届き、信者の中に入り、内側の霊から心の各部分に流れて、彼らを造り変え、召会を建造して新エルサレムに至るという神のエコノミーを啓示しています。あなたは若い時に、神のエコノミーのビジョンを見てください。このビジョンはあなたの全生涯を支配し、方向づけることができます。

あなたは神のエコノミーを召会の集会の時だけのものと考えないでください。そうではなく、神のエコノミーをあなたの全生涯のすべての事に結び付けてください。あなたの学業も、職業も、家族や、将来の結婚などのすべてについて、自分の計画ではなく、神のエコノミーに結び付けてください。ネヘミヤは宮と城壁の再建を指揮し、それを完成させたことのゆえに、最後に次のように言うことができました、「私の神よ、良きことのために、私を覚えてください」(ネヘミヤ13:31)。もしあなたが全生涯、神のエコノミーを生きるなら、あなたの生活にはいつも生ける水であるその霊の流れがあり、あなたには喜び、満足、平安があるでしょう。しかし、あなたが生ける水の源泉である神を捨て、自分のために壊れた水ためを掘るなら、あなたは神の激怒、懲らしめの下で生活することになります。

**アメリカの同労者の証し:**「私は青少年の時、ロサンゼルスで召会生活をエンジョイしていました。学校の成績が良かったので、大学受験では全米でトップ・クラスのUCバークレーを受けるつもりでした。大学受験の前に、リー兄弟にどの大学を受験すればいいか尋ねると、『UCLAにキャンパス・ワークがあるので、UCLAに行きなさい』と勧められました。私は最初、『なぜ、格下の大学に行かなければならないのか?』と思いましたが、リー兄弟の勧めに従ってUCLAに行き、キャンパス・ワークに携わり、多く学ぶことができました。進学も神のエコノミーと結び付けて考え、行動することで祝福されました」。

**兄弟の証し:**「私が関西にある医療機器最大手会社で、取締役として働いていた時、業績が上がっていたので、出世するために東京本社に来るように何度もしつこく誘われましたが、召会生活のためにすべて断りました。また東京の多くの会社から良い条件の誘いもありましたがすべて断りました。外資系会社の関西でのPositionは、ほとんどがManager以下で、DirectorのPositionはほとんどなく、Vice President (VP)のPositionは全くありませんでした。私は関西ではExecutive Positionがなく、キャリアアップが難しいので、召会生活の道は狭い道であることを実感しました。そんな時、大阪に本社のある外資系の会社からの誘いがありました。その会社の条件は、東京の会社からの条件とほぼ同じでしたが、私との面接の後、PositionをVPに上げてきました。主の導きの下でその会社に転職しました。職業の選択も神のエコノミーのビジョン、召会生活の実行のビジョンに制限されることで、結局、この会社にいた後半の3年間は、東京に行くよりも明らかに良い条件で働くことができました」。

あなたは自分が若いからといって、決して自分を軽く

見てはいけません。神はあなたを重んじておられます。エレミヤ1:7 しかしエホバは私に言われた、「自分が若者であると言ってはならない。…あなたは語らなければならぬからだ。…」あなたが若い時から人生のすべての段階で、神のエコノミーと結び付け、召会生活の中で生ける水を飲み続け、生ける水を流し出すなら、あなたの全生涯は新エルサレムの生活となるでしょう。祈り:「おお主イエスよ、私は進学、就職、結婚などの全生涯のすべての段階で神のエコノミーに結び付きます。生ける水の源泉である神に来て、生ける水を飲み、生ける水を流し出します。もし私が生ける水を飲まず、生ける水の源泉である神を捨てるなら、神の激怒、懲らしめ、刑罰の下での生活が強いられます。主よ、神のエコノミーの中で、生ける水を飲み続け、流し出し続けることができますように。私の全生涯を守ってください。アーメン!」

**CP2:神の民の二つの悪事:①生ける水の源泉である神を捨てること、②自分のために壊れた水ためを掘ること**  
ヨハネ4:13-14 イエスは答えて言われた、「この水を飲む者はだれでも、また渴く。しかし、私が与える水を飲む者はだれでも、決して永遠に渴くことはない。私が与える水は、その人の内で源泉となり、湧き上がって、永遠の命へと至るのである」。エレミヤ2:13 まことに、私の民は二つの悪事を犯したからである。彼らは私、この生ける水の源泉を捨てて、自分たちのために水ため、水をためることがない壊れた水ためを掘ったのだ。エゼキエル14:3 人の子よ、これらの人たちは彼らの偶像を心の中に抱き…。OL1:神の目に、悪しき者、悪を行なう者は、来て彼から飲むことをしない者です。悪しき者の邪悪な状態は、彼らが主に来て主を食べ、飲み、享受しないことです。彼らは多くの事を行ないませんが、来て主に触れ、彼を取り、彼を受け、彼を味わい、彼を享受することをしません。神の目に、これほど邪悪なことはありません。OL2:神の意図は、ご自身を人の中へと分与して、人の満足となり、神を拡大することでした。しかし、人は不忠信になり、不貞になり、神を捨てて、偶像に向きを変えました。OL3:私たちの心の中の中の偶像とは、私たちが自分の内側で主以上に愛し、大切にすべてのもの、また私たちの生活の中で主に置き換わるすべてのものです。OL4:神を礼拝する者はだれも、黙っているべきではありません。みな声を出して、神の霊の中で、「主イエス!」と語り出すべきです。OL5:イスラエルは神を捨て、偶像に向きを変え、神に対して邪悪で、不忠信でした。神に対してこのように不忠信であることにおいて、私たちはイスラエルと同じです。

イスラエルの第一の悪事は、エホバ、生ける水の源泉を捨てたことでした。…エレミヤ書において、エホバ・神はご自身を、彼の愛する選民、イスラエルの夫と考え、イスラエルを彼の妻と考えておられます。こうして、エレミヤ 2:1~3:5 は、夫と妻との間の会話と考えてよいでしょう。「行って、エルサレムの人々の耳に叫んで言いなさい。エホバはこう言われる、私はあなたについて、あなたの若いときの思いやり、花嫁の日々の愛を覚えていた。その時、あなたは荒野で、種がまかれていない地で、私の後に従った」(2:2)。エホバとイスラエルにとって花嫁の日、結婚の日があり、夫であるエホバは依然としてその愛の日を覚えておられました。

イスラエルの第二の悪事は、自分たちのために水ため、水をためることがない壊れた水ためを掘ることでした。…イスラエルが労苦して何かを作って、生ける水の源泉としての神を置き換えることを描写しています。岩から水ためを掘ることはとても困難な労働です。そして水ためは壊れるかもしれません。いったん水ためが壊れると、その中の水は漏れ出します。これは人の労苦と事業の絵です。私たちは自分自身のために労苦して何かを得るかもしれませんが、私たちの「水ため」はひびが入り、私たちが得たものは何であれ失います。イスラエルは無益なものである多くの偶像を選んで、彼らの栄光である唯一の神と置き換えました。

ローマ1:23 しかし、不朽の神の栄光を、朽ちる人や、鳥や、四つ足の獣や、這うものの像の姿に変えました。

### 適用:ビジネスパースン・大学院生編

あなたは主の中で勤勉に働く必要がありますが、ビジネスや学位を、主イエスよりも愛してはいけません。例えばある兄弟姉妹は、学位や職業を得るまでは主と兄弟姉妹に頼りますが、一旦それらを得ると、自分の力で得たかのように言い、自分自身に栄光を帰し、主と兄弟姉妹たちに感謝しません。これが神を捨て、偶像に向きを変えることです。これらの人は、主ご自身を愛さず、主が与えて下さった物質的な祝福を愛します。彼らは高ぶりを伴う自己愛、学位、職業という壊れた水ためを掘り、偶像を心の中に持っています。兄弟の証し:私が姉妹と婚約した後、姉妹の地方召会のある姉妹が私に、「あの姉妹の家はお金持ちなので、あなたは祝福されています」と言いました。私は心の中で怒って、「あなたは何を言っているのか、私には全く理解できません。神の子供である私がお金で妻を選ぶでしょうか」と言いました。結婚後、神戸で本山集会所(2000年)、魚崎集会所(2004年)、六甲学生センター(2008年)を購入する度に、姉妹の家族から財政的に大きな支援を受けました。私がもし、姉妹ではなく、姉妹の両親のお金を目当てに結婚しようとしていたなら、私の心は純粹ではないので、結婚できなかったでしょう。しかし、私はそのようなことは何も考えてもいなかったため、結婚することができました。そして結婚の結合により、姉妹だけでなく、姉妹に付属する財政的な豊かさも付いて来ました。『心の純粹な人たちは幸いである。彼らは神を見るからである(マタイ5:8)』。『私たちはみな、主の栄光をおおいのない顔をもって、鏡のように見つめ、そして反映して、栄光から栄光へ、主と同じかたちへと徐々に造り変えられていきますが、それはまさに主なる霊からです(Ⅱコリント3:18)』。私は召会生活の中で生ける水を飲み享受していたので、心が純粹になり、神を見つめていました。神を見つめていたので、結婚における最重要項目が『妻を愛する』であることも明確に理解できていたと証しすることができます。祈り:「おお主イエスよ、主の中で勤勉に働きますが、学位、職業を主以上に愛してはいけません。それは、壊れた水ためを掘り、主に心を向けず偶像を拝むことです。主よ、私の心を純粹にして、花嫁の日々の愛で主を愛し続けさせてください。イスラエルは神を捨て、偶像に向きを変え、神に対して邪悪で、不忠信でした。このことは、私に対する警告です。主イエスよ、あなたに開き、あなたに信頼します。あらゆる偶像から私を救ってください」。

**CP3:神のあわれみは尽きず、彼の信実は大であるので、外側の状況を見て、決して失望してはいけない**

**哀 3:22** 私たちが滅ぼされないのは、エホバの慈愛である。まことに、彼のあわれみは尽きることがないからだ。**23** それらは朝ごとに新しい。「あなたの信実は大です。**24** エホバは私の分け前です」と私の魂は言う。それゆえ、私は彼を待ち望む。**25** エホバは彼を待ち望む者と、彼を求める魂に対してすばらしく善い。**1コリント1:9** 神は信実です。この方を通して、あなたがたは彼の御子、すなわち、私たちの主イエス・キリストの交わりへと召されたのです。**OL1:** 私たちは、神が彼のエコノミーを完成することにおいて信実であることを見る必要があります。**OL2:** 私たちが神の信実を天然の方法で理解するなら、私たちは神が信実であるのはおもに物質の備えか物質の祝福の事柄においてであると思うかもしれませんが、しかし、神の信実是我们たちの天然の理解にしたがったものではありません。**OL3:** 使徒パウロの苦難を考えてみてください。彼は神によって召され、委託され、負担を受け、遣わされましたが、どこへ行っても問題に遭いました。例えば、彼はキリストを宣べ伝え始めると直ちに、迫害を受け始めました。…これは、神がパウロにとって信実でなかったことを意味するのでしょうか？ いいえ、それは、神の信実が私たちの天然の理解にしたがっていないことを意味します。**OL4:** 私たちの失敗は、キリストのために道を備えまた開いて、彼が入って来て、私たちの中で、また私たちを通して高く上げられ、私たちの中心性と普遍性になるようにさせるのです。ですから、私たちは落胆したり、失望したりすべきではありません。そうではなく、私たちはすべての慰めと励ましの神をもって励まされ、慰められるべきです。

イスラエルは生ける水の源泉としての神から飲むのではなく、彼らの偶像から飲みました。ですから、神はバビロン人を用いてこれらの偶像を対処し、またエルサレムと宮をさえ破壊されました。それらが彼らにとって偶像となっていたのです。私たちは、自分がイスラエルより良くないことを見る必要があります。どんなものでも、私たちの偶像になり得るのです。しかし、神は彼のエコノミーを完成することにおいて信実です。神は彼の信実の中で私たちの偶像を対処し、私たちに彼から飲ませられます。

**哀歌3:22～25**を考えることは益があるのです。…これらの言葉が書かれたのは、バビロン人がエルサレムを破壊し、宮を焼き、多くの民を捕囚へと連れ去ったからです。…確かに、イスラエルの民は、神が自分たちを放棄し、自分たちはおしまいであると感じたに違いありません。一方で、エレミヤは泣いていました。もう一方で、彼は書いていました。彼は書いているとき、彼らが滅ぼされないのはエホバの慈愛であると言うことができました。…エレミヤは、エホバは自分の分け前であり、彼を待ち望む、なぜなら彼は彼を待ち望む者に対してすばらしく善いからであると言明することさえできました。なぜ彼に望みがあるのでしょうか？ 神の中に望みがあるのは、神には失望がないからです。

### 適用: 奉仕者編

哀歌はエルサレムの破壊の後、エレミヤによって書かれました。この背景を考えて、哀歌3:22～25を祈り読む時、エレミヤの驚くべき信仰を見ることができます。実はあなたが今、召会生活を送れているのは主のあわれみ

です。あなたが、救われ留まり奉仕できているのは、主のあわれみです。あなたや私よりも優秀な人、あるいは良い人は多くいましたが、彼らは残りませんでした。それはあなたが良いからではなく、主のあわれみによります。**ローマ9:15** なぜなら、彼はモーセに言うおられるからです、「私は自分があわれもうとする者をあわれみ、慈しもうとする者を慈しむ」。**16** ですから、それは人が決意することによるのではなく、走ることによるのでもなく、神があわれみを示されることによるのです。…**11:22** ですから、神の慈愛と厳しさを見なさい。倒れた者の上には厳しさがありますが、あなたがたの上には神の慈愛があります。ただあなたは、神の慈愛の中にとどまり続けなさい。そうでないと、あなたも切り離されるでしょう。**33** ああ、神の豊富と知恵と知識とは、何と深いことでしょう！彼の判断は何と計り知れず、彼の道は何と極め難いことでしょう！**34** 誰が主の思いを知ったのでしょうか？誰が彼の参謀となったのでしょうか？**35** 誰がまず彼に与えて、そしてその人に戻されるのでしょうか？**36** なぜなら、万物は彼から出て、彼を通し、彼に帰するからです。彼に栄光が、永遠にありますように。アーメン！

姉妹の証し: 私は2013年9月に救われ、今年で召会生活7年目に入りました。この7年間の間に私は就職、結婚、全時間奉仕をすることについて、主と兄弟姉妹によって導かれました。私の天然の人は、「自分さえよければそれでいい」という個人主義が強い人でした。しかし、兄弟姉妹と福音や牧養の奉仕をすることを通して、私の中の個人主義が少しずつ対処されつつあります。去年から今年にかけて、私にとって大きな三つのことを決定しました。一つ目は、去年の春に兄弟と婚約し、今年三月に結婚しました。二つ目は、去年の年末に、会社を辞めて奉仕をすることを決めました。三つ目は、年始に自分が所有する本山のマンションを売却し、奉仕するために、召会が新しく購入した三宮集会所に移住しました。毎回、信実な神に信頼し、兄弟姉妹に開き、祈り、そして行動し、祝福されました。私は救われる前、母子家庭の母親をガンで亡くし、在学していた大学にも行けず、ひきこもりの生活をしていました。毎日生きていく気力もなく、食べるものもろくに食べず、抜け殻のような生活をしていました。家から出ることもほとんどありませんでしたが、何となく本山駅付近を歩いている時に、路上福音をしていた姉妹たちに出会いました。主に感謝します。私はその日すぐ本山集会所でバプテスマされ、救われました。しかし、その時は救われた実感も余りありませんでしたが、他に頼るものが何もなかったのも、キリストと兄弟姉妹によく分からないまま頼りました。今考えると、私が救われたのも、結婚できたのも、全時間奉仕者として主に仕えることができるのも、すべては主のあわれみの故です。これからも主の恵み、あわれみに頼り、兄弟と共に勝利者の道を歩みたいと願います。**祈り:** 「おお主イエスよ、私が救われ、召会生活に留まり、奉仕できるのは主のあわれみです。神は彼のエコノミーを完成することにおいて信実であることを賛美します。信実な神は私たちの理解をはるかに超越しています。私は落胆したり、失望したりしません。信実な神は私と共におり、励まし、慰めてくださることを感謝します。主のあわれみに依り頼み、勝利者への道を歩みます。アーメン！」